

# 防根透水シートを用いたハウスメロンの根域制限栽培における 生育時期別のかん水管理技術

橋田祐二・新田益男・武井 久・小松秀雄

Irrigation Management at Growth Stages for the Greenhouse Muskmelon in  
Root Zone Restriction Culture Using Polyester Sheeting

Yuji HASHIDA, Masuo NITTA, Hisashi TAKEI and Hideo KOMATSU

## 要 約

防根透水シートを用いたハウスメロン（アールスメロン系品種）の根域制限栽培において、蒸発散量を指標としたかん水管理技術を明らかにするため、冬作および春作での生育時期別かん水量の違いが、果実肥大、品質に及ぼす影響について検討した。

1. 冬作において、栄養成長期または果実肥大期でのかん水量を蒸発散量の5%増とし、その他の生育時期では蒸発散量の15%減を目安に管理することで、果実肥大が促進され、1果重は1.4kg、果実内壁部の糖度は16度となった。
2. 冬作において、栄養成長期および果実肥大期でのかん水量を蒸発散量の5%増とし、その他の生育時期では蒸発散量の15%減を目安に管理することで、果実肥大が促進され、1果重は1.7kg以上、果実内壁部の糖度は15度以上の果実生産が可能となった。
3. 春作において、栄養成長期以降のかん水量を蒸発散量の15%減を目安に管理することで、1果重は1.7kg、果実内壁部の糖度は16度の果実生産が可能となった。栄養成長期および果実肥大期でのかん水量を蒸発散量の5%増とし、その他の生育時期では蒸発散量の15%減を目安に管理した場合には、果実肥大が促進され、1果重は1.9kg以上、果実内壁部の糖度は16度以上の果実が得られた。

キーワード：ハウスメロン、根域制限栽培、防根透水シート、冬作、春作、かん水管理